



一般社団法人日本支承協会主催（福岡会場）

「実務者のための道路橋支承部の点検・診断・維持管理技術」講習会

● 趣旨

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震では、道路構造物が大きな加速度応答によって直接的に損傷した例は少ないものの、津波によって上部工が流失したり、震源から遠く離れた地点の橋梁で積層ゴム支承本体に破断が生じるなど、過去に経験の少ない特殊な事例が発生しました。一般社団法人日本支承協会が研究を委託した公益社団法人土木学会鋼構造委員会では、「鋼橋の支持機能検討小委員会」を設置し、東北地方太平洋沖地震によって受けた支承部の損傷状況や自治体で行われた点検結果などについて検討を重ね、その結果を「鋼構造シリーズ 25 道路橋支承部の点検・診断・維持管理技術」としてまとめました。本講習会では、鋼構造シリーズ 25 を参考に、支承部の基本的な構造や機能、支承部の予防保全と長寿命化技術および今後の維持管理に向けての提言について解説します。橋梁の設計・施工および維持管理に関する初心者からベテランの技術者にとって非常に役立つ内容となっていますので、多数のご参加をお願い致します。

尚、4 月に起きた熊本地震による橋梁被害についても大塚名誉教授にご講演をしていただきます。

● 主催

一般社団法人日本支承協会

● 後援

公益社団法人土木学会

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 九州支部

一般社団法人九州橋梁・構造工学研究会（KABSE）

● 日時

平成 28 年 9 月 28 日（水）13:00～17:00

● 場所

南近代ビル第 2 会議室 福岡市博多区博多駅南 4 丁目 2-10 TEL:092-431-4343

● 募集人員

120 名

● 参加費

一般 6,000 円、学生 4,000 円。当日会場で申し受けます

当日の参加費のお支払いは釣銭が必要ないようにお持ちください。

● 申込方法

所属機関、所在地、参加者氏名、連絡先を明記の上、ホームページから申し込み

● 申込期間

9 月 5 日（月）～9 月 16 日（金）

● 問合せ先

一般社団法人日本支承協会 E-mail : inform@bba-jp.org

TEL 03-3272-4476 Fax 03-3281-8634

● 詳細

日本支承協会のホームページを参照して下さい。

● 内容

講習会の内容は次のとおりです。

1. 記念講演 平成 28 年熊本地震の特徴と、布田川断層帯における橋梁の被害から学ぶ耐震設計のあり方

大塚 久哲 九州大学名誉教授

2. 趣旨説明 藤原 博 (株) ネクスコ東日本エンジニアリング

3. 支承部の技術的変遷 比志島 康久 (一社) 日本支承協会

4. 東北地方太平洋沖地震による支承部への影響、常時における支承部の損傷傾向

谷中 聡久 (株) 横河ブリッジ

5. 支承部の基本と長寿命化に向けた設計計画

朝倉 康信 (一社) 日本支承協会

6. 支承部の点検ポイント、補修・改善事例と今後の維持管理

臼井 恒夫 (一財) 首都高速技術センター

7. 閉会の挨拶

比志島康久 (一社) 日本支承協会

- 本講習会参加者の方には、テキストとして「土木学会鋼構造シリーズ 25 道路橋支承部の点検・診断・維持管理技術（平成 28 年 5 月発行）」を差し上げます。

- 公益社団法人土木学会の CPD プログラムの認定を受けています。

以上

福岡 支承講習会プログラム

9月28日(水) 13:00～17:00 於ける南近代ビル第2会議室

主催 一般社団法人 日本支承協会

	内容	時間	持ち時間	講師
	開会の挨拶	13:00～13:05	5	日本支承協会比志島理事長
1	記念講演 「平成28年熊本地震の特徴と、布田川断層帯における橋梁の被害から学ぶ耐震設計のあり方」	13:05～13:55	50	九州大学名誉教授大塚久哲先生
2	趣旨説明	13:55～14:05	10	支持機能検討小委員会藤原委員長
3	支承部の技術的変遷	14:05～14:25	20	性能設計WG 比志島
	休憩	14:25～14:40	15	—
4	東北地方太平洋沖地震による支承部への影響、常時における支承部の損傷傾向	14:40～15:25	45	損傷分析WG 谷中
5	支承部の基本と長寿命化に向けた設計計画	15:25～16:10	45	性能設計WG 朝倉
6	支承部の点検ポイント、補修・改善事例と今後の維持管理	16:10～16:55	45	維持管理WG 臼井
7	閉会の挨拶	16:55～17:00	5	日本支承協会比志島理事長

司会：藤原委員長